

学者村たより

平成30年5月1日発行 通巻13号 発行：学者村 景観を考える会事務局
編集人：青山忠英（4期 A-109）

◎3期看板が新しくなりました！

3期にお出での皆様はすでにお気づきのことでしょうが、国道254号沿い3期入口の案内看板がリニューアルされました。すっきりとしたデザインで別荘地らしい雰囲気作りに一役買ってくれそうです。

話はそれますが、3期では定住されている方々を中心に「三期の会」が運営されており、町内会や自治会とは違う独自のコミュニティが育まれています。その反面、大変残念ながら景観を考える会には3期の方の参加があまり多くありません。地理的なものなどいろいろあるかとは思いますが、その辺りは景観を考える会の課題として受け止めていかなければならない問題と認識しております。



◎平成30年度第1回 例会が開かれました

4月12日、1期山の家にて今年度初の例会が開催されました。別荘オーナーの皆さんをはじめ、役場や管理センターの方々に加え、長久保財産区の方にもご出席をいただきました。議事の概要はWEBサイトに掲載してありますので、詳しくはそちらをご覧ください。

■役場・管理センターの新体制

- ・副町長：高見沢高明さん（新任）
- ・建設水道課長：長井 剛さん（新任 但し、別荘係長の経験者）
- ・建設水道課 専門幹（課長級新ポスト 別荘担当）：龍野正広さん
- ・建設水道課 課長補佐 兼 別荘係長：上野公一さん（留任）
- ・総合管理センター職員：荻原主任以下、前年度と同じ

笠取峠の総合管理センターには役場正規職員が基本的に常駐し、学者村だけではなく長和町の直轄別荘地全体の業務を管理します。管理費問題の表面化以降、長和町は別荘地の管理運営の見直しを進め、今の体制になりました。まだまだ種々の問題を抱えてはいますが「管理費に見合った管理」を行なうための体制は整いつつあり、また別荘オーナーとしても「目に見える変化」が少しずつでも感じられるのではないのでしょうか。いずれにしても今後に期待を大としながら、関心を持って見守って行きたいものです。

◎2期上方の道路の危険箇所が修復されました！

すでに時間が経ってしまいましたのでご存知の方も多いでしょうが、2期の標高が1,000mを超えたところの幹線道路で、谷側が崩れ危険な状態になっていた箇所が完全に復旧され、安心して通行できるようになりました。谷側にはしっかりとガードレールも設置されています。



◎2期の山桜がきれいでした

写真は去る4月21日に撮影した2期の桜です。さすがにもう散ったはずですが、なかなか美しい佇まいですね。あ、写真の腕の悪さは平にご勘弁ください(^_^;A



◎会の新しい方向性について

景観を考える会の事務局は、先の例会にて今年度も葉山、青山、岡崎、松田の4名が再任されました。今年度はこの体制で活動しますが、景観を考える会の今後の方向性に関して、現事務局では今までは少し違うものを構想しております。

これまでとまったく違うことを考えているわけではありませんが、会の名称を含めて、これからの時代の流れに対応できるような柔軟な組織にしたいという基本的なスタンスです。詳しくは夏休み前にWEB他を通じて皆様にご提案させていただきたいと思いますので、少しお時間をください。また、皆様よりのご意見や建設的なご提案はいつでも大歓迎ですので、どうかご遠慮なく下記までお寄せください。

学者村が次世代に少しでも良い状態で継承されていくよう、今現在をより良くすることを考え、また多くのオーナーの皆様が必要な情報を共有できるようなシステムを構築したい…そんな願いを是非実現させるよう、みんなで考えていきましょう。

◎景観を考える会のWEBサイトはこちらです

<http://www.kokuyou.ne.jp/~arsidean>

学者村 景観を考える会事務局連絡先：葉山盛雄（1期 C-50）

電話：050（3583）6619 メール：arsidean@kokuyou.ne.jp